

國民學校實施に際して

保育者としての

立場は！

國民學校の教育が國民全體に對する基礎教育であり、それが國民生活に影響して、やがては國運の將來を左右するものであるならば、三つ子の魂百までといふ幼児期の基礎教育はより重大なものであるといふことは、今更考へるまでもないことでございます。

しかしこの幼児教育の重大さは昔から叫ばれて居つた事で、しかも未だにその普及發達が思はしくないといふのは何に原因して居ることで御座いませう、物論義務制でないこともその條件の一つで御座いますが、その義務制にならぬといふことは、あなたがち經費の點ばかりではないと存じます、世の一般の人々には勿論、當局の方々にも、まして同じ教育の畑にあつて教育の道に携つて居られる小學校の先生方、時には園長にさへも充分理解していただけない様な現状にあつたからだと思います。又數多い幼稚園の中

麴町區富士見幼稚園

山 村 きよ

には、理解してもらへない様な保育内容を持つた幼稚園があつた爲では御座いませんでせうか、勿論從來の小學校組織、經營方針と幼稚園の保育方針とにさうしても相入れられぬ、連りきれない何ものかあつた事はお互ひに認められて居りましたものゝ一歩退つて靜かに考へた時その保育内容が重大な保育の使命を完全に了して來たかさうか疑問に思はれる點が澤山あると思ひます。ここに忘れられて居ることが澤山ありはせぬかさ常に痛感させられて居る次第で御座います。

從來の保育は二つの方向のどちらかに片より過ぎては居らなかつたでせうか、あまりに幼児の氣持ちを汲み過ぎて、自由々にさ走つたり、その反對に少しも幼児の氣持を、否幼児期といふ事も忘れて行き過ぎた保育をしてはるませんでしたでせうか？、一方面の行き方は幼児が幼いか

らくいふことをすべての立前にこつてあまりに感謝にのみ走つた保育に片よつて居た様に思はれるので御座います。幼児教育が幼児期の特色を十分に發揮してその生活を充分に生活させることであるにしても保育者は將來を目標した教育的意識をも充分に持つて居なければならぬと思ひます。幼児生活は系統だつた理智的に誘導された生活でなければならぬと思ひます。

又一方面には幼児の氣持から全然はなれて、しかも保育項目の取扱ひに、その技巧のみに重きを置き過ぎて居はしなかつたでせうか。そして保育の根本さもいふべき生活指導、性情の涵養等にはあまり觸れられない様に感じられる點が多くは御座いませんでせうか？

各保育項目を通しての期待効果が總合されて、生活指導に、性情の涵養に、保健に之向ふてゐることは事實で御座いますが、それがあまりに形に表はれる結果にのみさらわれてゐる傾きは御座いませんでせうか、誰しも結果の表はれない仕事は張り合ひのないものでございますし、又與へる材料のはつきりした保育項目の取扱ひについての研究は、たゞへその保育者に得手不得手があつたにしても、努力次第で容易に出來得る事で御座います。又保育者に對するそれらの指導者にも恵まれて居りますが、人の目にもつかず、自分にさへもあまりはつきりな効果の表はれない、

幼児の性格の表はれに對するいろ／＼の躰、十人十色の生活内容を持つた幼児の生活指導は實に／＼むづかしい事で御座います。又この方面の研究を助けるのは指導者如何でなく保育者自身の人格の如何によるものと思ひます。保姆自身の修養から成る人柄、熱心愛を理智的な誘導によるものと思ひます。

精神的にも身體的にも個々の發達階段を経て成長する幼兒の一人／＼を見つめて行く事は普大抵の努力では出來ない事で御座いますが、これが出來なくてなんで基礎教育をしたま云へませうか、國民學校案の幼稚園に對する要項「第一」に示されて居ることもこゝをさして居られるのだと思ひます。

今國民學校が新たな立場を以つて根本から教育の立直しをしやうとして居られる時、幼稚園のみが從來の傳統を守つて平易に過して行つてよいもので御座いませうか、十六年度から實施の國民學校開始に先立つて、大いに考へねばならない事だと思ひます。そして要項第二、第四は是非共私共實際家によつて今直ぐからでも考へておかねばならない問題だと思ひます。その意氣で毎日の保育を反省して觀る時にあまりに忘れられてゐる部面、考へ直さねばならない方法の多い事に氣がつくので御座います。自由遊びの誘導、生活訓練、社會性の練磨、集團生活の指導、發達

階段に伴ふ智的生活の指導等、より重大な幼児保健に至るまで一通りの事は行はれて居る事は云ふものゝそれがどこまで系統だて、取り行はれて居るでせうか、四歳児は四歳児なりに、五歳児は五歳児なりに、どこまで發展さすべきか、はつきりした目やすのものに保育さるべきであると思ひます。幼稚園時代ならではなし得ぬ「部面」のある事を忘れてはならないと同時に、決して行き過ぎた保育もしてはならないと思ふのでございます。

ここに國民學校の低學年教育の内容及び方法が、ある部面では幾分か幼稚園生活を考へて下さつて居られるやう伺ひ知ります時、又教則案の各精神を考へます時、就學前教育に於て誘導されたことが、就學後も續いて一つの系統に發展されて行くといふ事は實に幼稚園として嬉しい事だと思ひます、ここまでは幼稚園の仕事、これから先きは小學校で行はるべき仕事、といふ事がはつきり區別されて又内容に於ても連絡されるべき點の澤山あることを今から研究する必要があると思ひます。從來の小學校連絡問題は言葉の上で、形の上での連絡であつて内容的には一寸も連絡して居らなかつた様に感じられるので御座います。

今十個條の教則案の本旨(精神)を胸に體して、同じ根幹を有する教育系統に連れて進む時の來た事を何より嬉しく思ふので御座います。幼稚園に關する要項の中の躑につ

いても、言葉は簡單に「躑を重視して云々」とありますが、こゝが實に考へねばならない所だと思ひます、躑の本旨もいふべき事、保育精神がどの程度保育者自身に理解されて、又統一されて幼児の上にかゝつて行くかは實に疑問であると同時に心配な事で御座います。十人十色の性格を持つた保姆が(修養に於ても様々な違つた經驗を經てゐる保姆が)躑々稱して自分の感情のまゝに子供を取り扱つて形の上には表はれた幼児の行爲のみで躑の如何を判斷したり、自分の主觀で子供を左右したり、所謂型にはまつた子供の出來るのを躑のよく出來た結果と思ふ様な間違ひは起らないもので御座いませうか、取越苦勞かも知れませんが今までの保育から照し合せてこの點實に心配で御座います、どこまでも子供の生活環境、個性等をはつきり見つめた上の、良心的教育の表はれでなければならぬと思ひます。それには保育方針の中に實踐せねばならない具體的な實例を示して、躑に對する保姆の心がまへこもいふべき事はこの際はつきりさせておく事が必要であるを考へます。

要項第四に示されてある家庭との連絡問題も實に重大な事で、又我々保育者のすぐにも手をつけねばならない問題だと思ひます、我々保育者でさへ兎角感情に溺れ易い程に、母親、祖母等の盲目的な愛に育まれてゐる幼児の如何に多いかといふ事は私共實際家が常に經驗して、保育上何かこ

妨げられて居ることで御座います。ここに最近の様に一年保育児が多くなつてまゐります。三つ子の魂百までといふ時機は殆んど家庭教育によつて過ごされて居りますので、その結果いろいろの性格に行きあたる保姆の悩みも普及大抵では御座いませぬ、我國婦人の特徴ともいふべき「愛情だけの育て方」をする、ある階級の母親達を、もつと理智的に指導するのは私共でなくて誰が出来ませう、この點大いに自重してかゝらねばならないと思ひます。往々にして觀る、先生對母親、……(保護者)の様な氣持では容易にその實を擧げることは出来ないと思ひます、形の上でなく、心持ちの上にもつと親しさを持つて家庭と密接な關係をはかり、保護者に充分な安心と信頼を與へて後、家庭教育の指導を心がけて行くべきだと思ひます。

あまりに抽象的な考へをのべてしまひましたが、要するに私共保育者が此際、はつきりした信念を持つて、今までの保育の實際を反省し、再検討した上で、體驗したいいろいろの事實を科學的に系統立て、見る事が必要だと思ひます、そして毎日の保育の反省から一つ／＼具體的な實踐問題を見付けることだと思ひます。

たゞへば遊戯の一項目をさつて再検討しただけでも澤山の反省材料は見つけられると思ひます、まづ今までの材料が、……方法が、……、幼兒の體位向上に、生活訓練に、

これだけ効果的であつたか?、又幼兒生活の生命とする自由遊びとどんな關連を持つて居たか?大いに反省して見る必要があると思ひます。國民學校體操教授上の注意に「躡姿勢、其の他訓練の効果を、日常生活に具現せしむること」のべられてある事が保育の上にも大いに考へねばならない事と思ひます。唱歌にしてもたゞ唱ふことのみにとつてゐた傾きは御座いませんでせうか、中には行き過ぎた發聲練習や(自然を無視した)リズム遊び等に陥つてゐるはせぬか?考へられるやうな所もなきにしもあらずといふ感じも御座いました。……國民學校藝能科音樂教授上の心得の一つとして「音に對して出来るだけ耳を傾けて注意するやう習慣づけること」もありませぬ事も幼兒の音樂教授上心得ておくべき事だと思ひます。ここに幼兒生活の「音」は特別の關係を考へて日常生活に、遊びに取り入れて行く度いものも考へてをります。其の他觀察、手技、談話等、同じ様な氣持ちで再検討して行つたならば新たに生れる國民學校の教育精神を自ら一致することになると思ひます。國民學校の教育が生活から出發すべく、すべての教育方針が立てられて、又各教科相互の關聯に充分な考慮をはらつて教授されるのでありますから、幼稚園としては尙更この點充分考へて各保育項目の關聯をはかつて行かねばならないと思ひます、と同時に小學校低學年の各教科にもある程度

の聯絡をはかつてかゝるべきだと思ひます。國民科修身、幼稚園の躰、同國語と談話、理數科理科と觀察、同算數と(生活訓練、觀察)體操科體操と遊戲、藝能科音樂と(唱歌、遊戯)藝能科(工作)と手技等、充分考慮し心得ておかねばならない問題が澤山あると思ひます。それには來年度實施される小學校の一年生にどんな材料がどんな方法を以て與へられるかも研究しておく必要があるのでは御座いませんでせうか、今度の小學校改革がやがては保育の義務制にまで發展して行く様祈りつゝ保育者としては、今から保育の内容を再検討しておく必要があると存じますが、喜びにたえない。

今國家は精神的にも身體的にも底力のある「強さ」を以つて滅死奉公の念にもえた第二國民を要求してゐる時で御座います。國民學校に於てはこの第二國民を育成すべく教育の改革が叫ばれ、我國固有の教育方針と内容を確立して來年度よりその教育改善が行はれるので御座います。幼稚園として此際、我國固有の「我國独自の立場から考へた」保育方針と内容を確立して、幼児ながらの強い精神力と肉體力とを養つて、皇國民の基礎的鍊成の礎石となすべく努力して行き度いものと思ひます。しかし再度心しておかねばならないことは「鍊成」といふ言葉を考へ過ぎて、すべてに行き過ぎた保育をせぬ様、どこまでも幼児期の保育であるといふ事を常に念頭において團體訓練に、躰に、その實踐を強化して行き度いものと思つて居ります。

十月三十日の教育勅語換發五十年の記念日に當り、文部省は教育關係功勞者總計五千四百八十餘名を表彰せられた。

我が幼児教育界の先輩も數多表彰の光榮に浴されたのであるが、本誌發行までに全國的にそのお名まへを正確に知り得ないので、こゝにお知らせ出來ないのを遺憾とするが、喜びにたへない。

本會は謹んで、この度表彰の榮を勝ち得られた方に對し、心からお祝ひの意を表さしていただく。

日本幼稚園協會